

## 訪問教育ブロック(訪問学級)の教育

### 1 訪問学級の教育目標

- (1) 心身の状態を整え、健康の保持・増進を図る。
- (2) 人とかかわりを通して豊かな内面を育てる。
- (3) 自分のできる方法で、相手に伝える力を育てる。
- (4) 興味・関心を広げ、やりとりを活性化させながら意欲的に学ぶ力を育てる。

### 2 本年度の重点

- (1) 重点教育目標
  - ・豊かな内面を育て、人とのやりとりの活性化を促進する。
  - ・心身の状態を整え、健康の保持・増進に努める。
  - ・感覚・運動機能を高め、外界と主体的にかかわる力を育てる。
  - ・生活経験の拡大と、活動の選択および意思表示の伸張を図る。

#### (2) 指導の重点

各教科	○系統的な教科の指導が可能な児童生徒については、学力の維持と向上を図る。
道徳	○望ましい人間関係の確立や情緒の安定を図り、楽しい生活を送るための意欲や態度を養う。
特別活動	○学校行事への参加を通して、他の児童生徒との交流を図り、生活経験の拡大に努めるとともに、集団適応能力や社会性を養う。 ○卒業後のより豊かな生活に向けて体験的な学習に取り組み、地域や社会への関心を高める。
自立活動	○外気浴やマッサージなどを通して血行を良くし新陳代謝を促し、健康の保持・増進に努める。 ○スキンシップや興味・関心のある遊びなどを通して共感関係を結び、一対一の関係の確立を目指すとともに、集団を意識させ、対人関係の拡大を図る。 ○視覚や聴覚、触覚等への働きかけを通して快の状態をつくり、外界を認知する力や感覚機能の向上を図る。 ○語り掛けや歌遊び等を通して、発声や感情表現を促し、豊かな情操を育むとともに基礎的なコミュニケーション能力の向上を図る。また、コミュニケーション手段を選択・活用したり、状況に応じて主体的にコミュニケーションを行ったりする能力を養う。 ○校外学習の活動を通して、日常生活では体験できない雰囲気を感じるなど生活経験の拡大を図る。 ○長期にわたる入院生活や治療、病気への不安をできるだけ緩和するため、児童生徒の気持ちを受け止め、心理的な安定を図るよう努める。

### 3 教育課程

- (1) 自立活動を主とする児童生徒(小学部、中学部)
  - \* 児童生徒の実態によっては教科別の指導や教科等を合わせた指導を設定して授業を行う。
- (2) 教科指導を主とする児童生徒(小学部、中学部)
  - \* 小学部・・・児童の実態に応じた各教科(国語、算数を中心に)の指導を行う。
  - \* 中学部・・・生徒の実態に応じた各教科(国語、数学、英語を中心に)の指導を行う。

#### 4 年間授業日数

\*年間授業日数(時数210時間)を標準とする。

訪問指導先	
施設訪問指導 「札幌あゆみの園」	35(週)×4(回) =140(回)(日) 140(回)×1.5(時間)=210(時間)
在宅訪問指導	35(週)×3(回) =105(回)(日) 105(回)×2(時間)=210(時間)
病院訪問指導	35(週)×3(回) =105(回)(日) 105(回)×2(時間)=210(時間)

#### 5 日課

各児童生徒の日課については、訪問先ごとに保護者や関係機関と相談し決定する。

- (1) 在宅訪問指導～週3回:1回2時間を基本とする。  
(10:00～12:00または、13:30～15:30)
- (2) 病院訪問指導～週3回:1回2時間を基本とする。  
(10:00～12:00または、13:30～15:30)
- (3) 施設訪問指導～週4回(指導時間は施設との協議により決定する。)